

講演軍記

芥川龍之介

青空文庫

僕が講演旅行へ出かけたのは今度里見弴君さとみとんと北海道へ行つたのが始めてだ。入場料をとらない聴衆は自然雜駁ざつぱくになりがちだから、それだけでも可也かなりしやべり悪いにく。そこへ何箇所もしやべつてまはるのだから、少からず疲れてしまった。然し講演後の御馳走ごちそうだけは里見君が勇敢こつわに断つてくれたから、おかげ様で大助かりだった。

改造社の山本実彦君やまもとさねひこは僕等の小樽をたるにゐた時に電報を打つてよこした。こちらはその返電に「クルシイクルシイヘトヘトダ」と打つた。すると市庁の通信課ていしんくわから僕等に電話がかかつてきた。僕は里見君のラジオ・ドラマのことかと思つたから、早速さつそく電話器を里見君に渡した。里見君は「ああ、さうです。ええ、さうです」とか何なんとか云ひながら、くすくすひとり笑つてゐた。それから僕に「莫迦ぼか莫迦ぼかしいよ、クルシイクルシイですか、ヘトヘトですかときいて来たんだ。」と云つた。こんな電報を打つたものは小樽市始まつて以来なかつたのかも知れない。

講演にはもう食傷しょくしやうした。当分はもうやる気はない。北海道の風景は不思議にも感傷的に美しかった。食ひものはどこへたどり着いてもホツキ貝ばかり出されるのに往生わうじやうした。里見君は旭川あさひかはでオムレツを食ひ、「オムレツと云ふものはうまいもんだなあ」

としみじみ感心してゐただけでも大^{たい}抵^{てい}想像できるだらう。
雪どけの中にしだるる柳かな

(昭和二年六月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

講演軍記

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>